



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Man and
the Biosphere
Programme



Sustainable
Development
Goals

ユネスコエコパークと ESD/SDGs

水谷瑞希

信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設
信州ESDコンソーシアム

本日の内容

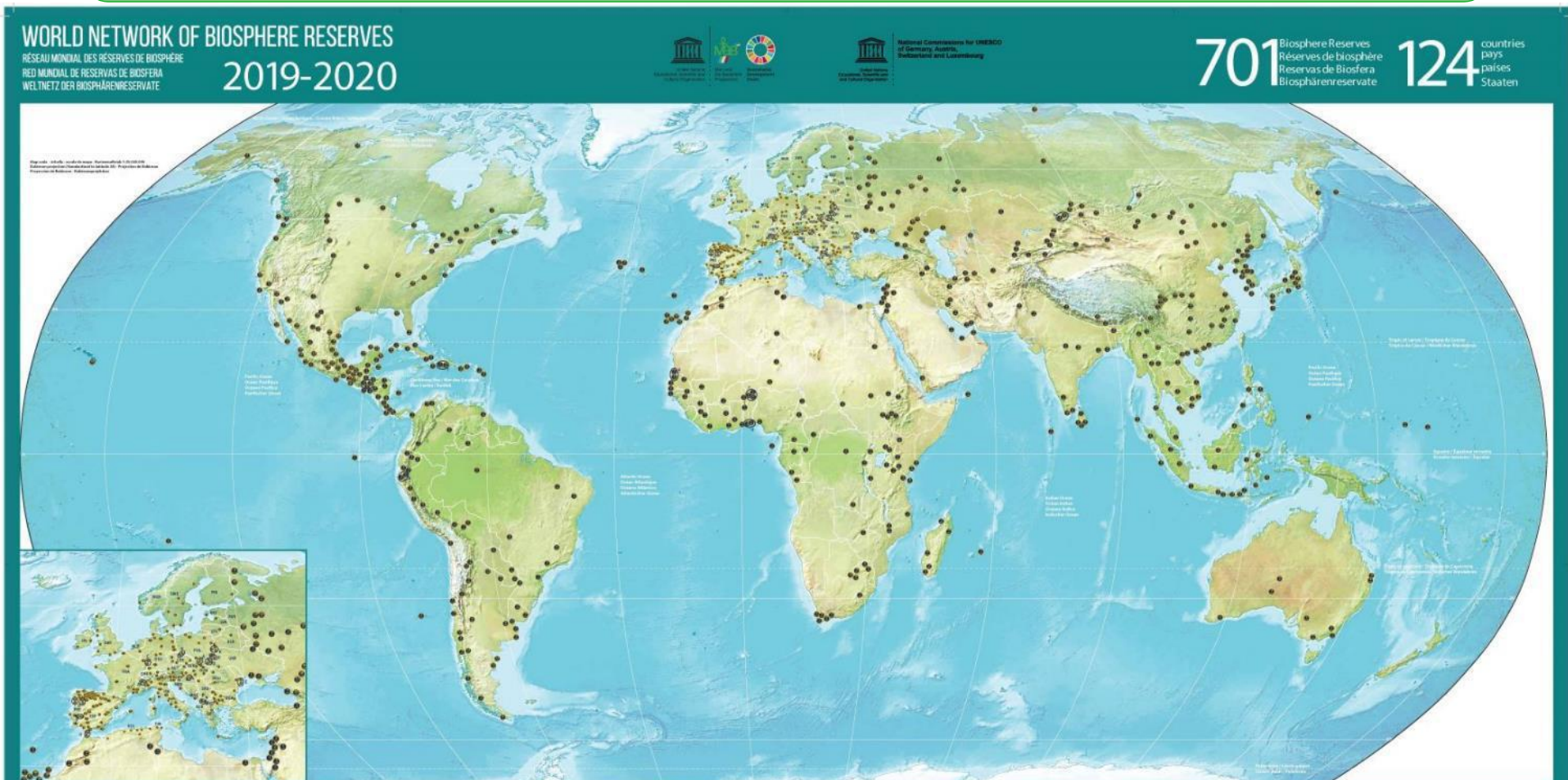
1. ユネスコエコパークとは？
2. ESD/SDGsとは？
3. ユネスコエコパークとESD/SDGsの関係は？
 - ・ 志賀高原ユネスコエコパークの事例から

1. ユネスコエコパークとは？

- ・ ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）MAB計画
（Man and the Biosphere Program：人間と生物圏計画）
 - 人間と自然との共生，自然資源の持続可能な利用と保全を促進するための科学的研究，教育，研修を行う事業
- ・ 生物圏保存地域（Biosphere Reserve：BR）
 - MAB計画の達成を目的とした国際的な登録保護地区
 - 日本国内ではユネスコエコパークと呼ばれる
 - 持続可能な開発を学ぶ場としても注目されている

1.1 世界の生物圏保存地域

124の国・地域に701サイトの生物圏保存地域があり,このうち日本では10サイトが登録されています



1.2 日本のユネスコエコパーク

124の国・地域に701サイトの生物圏保存地域があり, このうち日本では10サイトが登録されています



白山火山 (©白山市)



祖母山 (©高野弘之)



縄文杉 (©屋久島町)



照葉樹林 (©綾町)



大杉谷峡谷シシ淵 (©大台町)



甲斐駒ヶ岳と水田 (©南アルプス市)



西沢渓谷 (©山梨市)



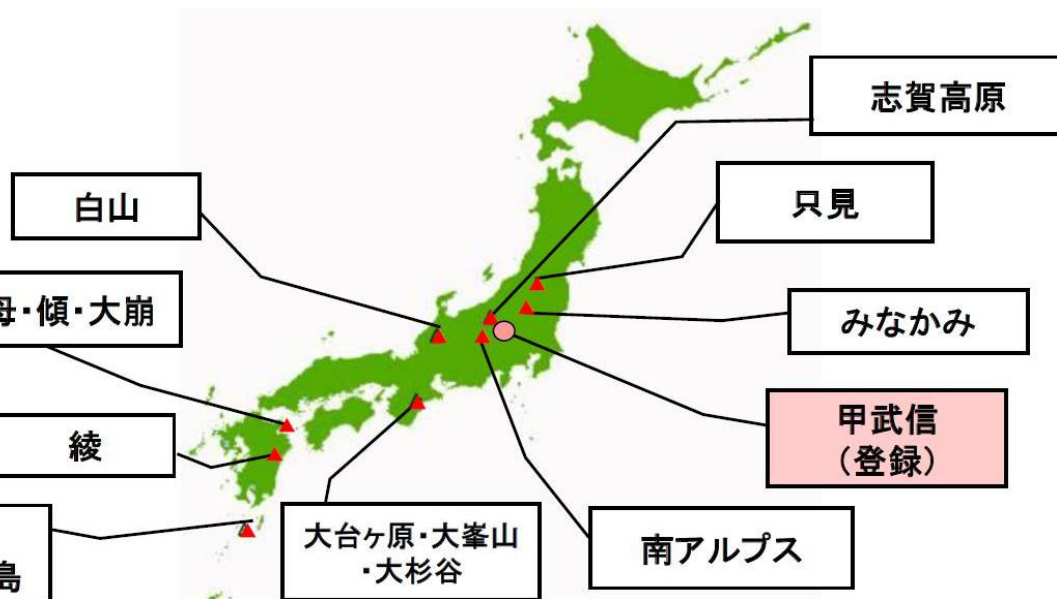
ブナ天然林 (©只見町)



志賀高原 (©山ノ内町)



利根川のラフティング (©みなかみ町)



志賀高原

只見

みなかみ

甲武信
(登録)

南アルプス

大台ヶ原・大峯山
・大杉谷

綾

祖母・傾・大崩

白山

屋久島・
口永良部島

1.3 ユネスコエコパークの機能

ユネスコエコパークは人と自然の共生という目的を実現するために、3つの機能を果たすことが求められています

保全機能

conservation

人間の生活とその影響も含めて、
生物多様性保全上、重要な地域

経済と社会の発展

development

自然と調和した持続可能な発展の
モデルとなる取り組み

人と自然が調和する
持続可能な社会

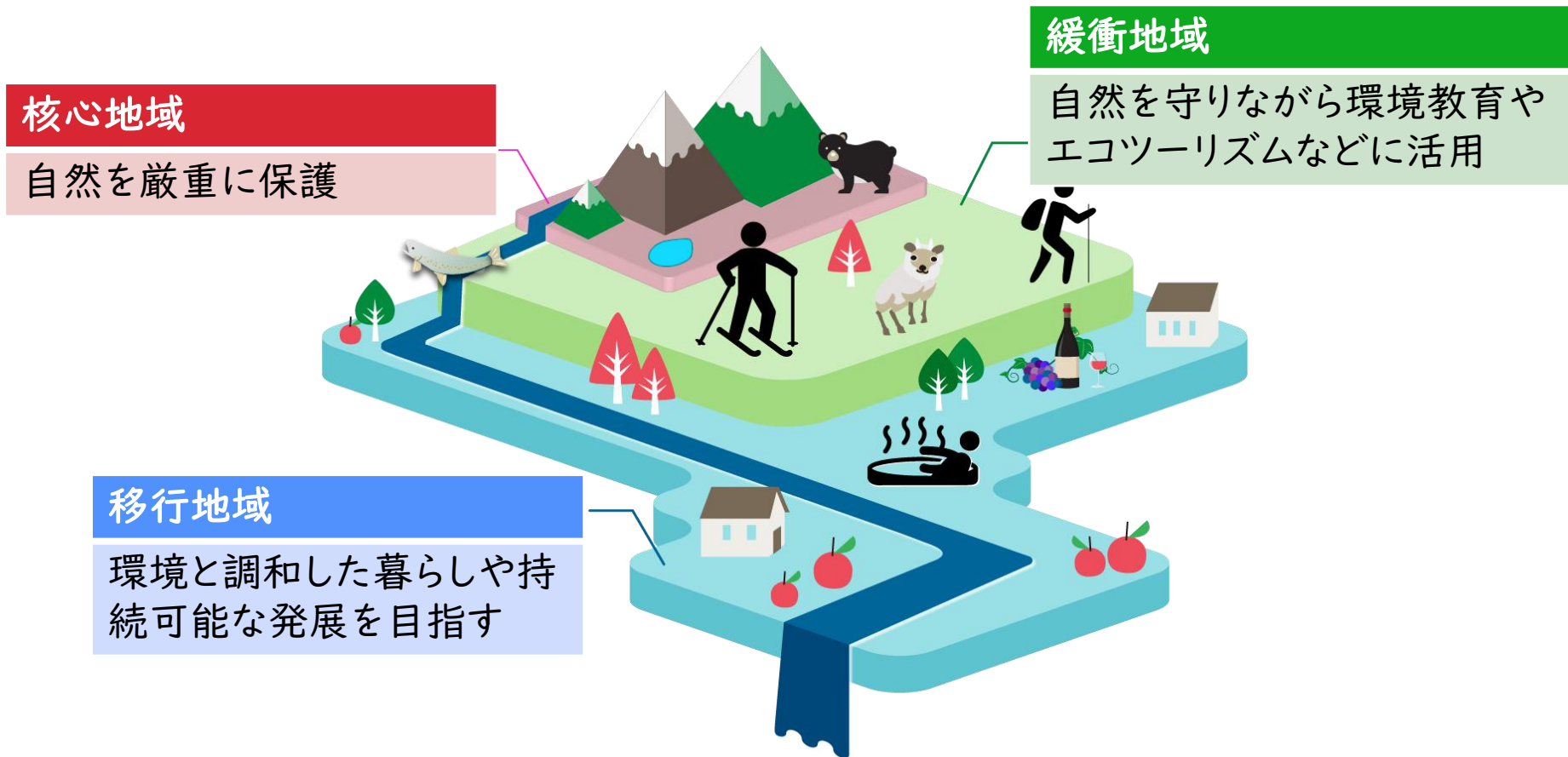
学術的研究支援

logistic support

持続可能な発展のための調査や
研究, 教育・研修

1.4 ユネスコエコパークの地域区分(ゾーニング)

ユネスコエコパークは貴重な自然がある場所だけでなく、人が生活を営む地域を含めて丸ごと保護区として登録されます



1.5 ユネスコエコパークの地域資源

ユネスコエコパークは自然環境と、それを守り伝え活かしてきた地域社会（伝統・文化）などの地域資源に恵まれています



2.1 ESDとは？

ESD（持続可能な開発のための教育）は、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育です

- ・ ESD（Education for Sustainable Development）
- ・ 環境・貧困・人権・平和・開発といったさまざまな地球規模の課題がある現在において、『これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む（**think globally, act locally**）ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動』（文部科学省）

2.2 持続可能性を脅かす諸課題

グローバルな課題

- 気候変動
- 人口爆発, エネルギー・水
- 貧困, 紛争, 社会的公正
- 情報技術革新 (AI) と雇用
- 生物多様性の喪失

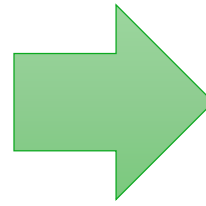
日本の課題

- 異常気象・自然災害
- 少子高齢化と都市一極集中
- 格差, 社会的公正
- Society 5.0
- 生物多様性の4つの危機



2.3 持続可能な社会の担い手像

- “大加速化”
- 地球の限界
- グローバリゼーション



VUCA (変動・不確
実・複雑・曖昧) の
時代

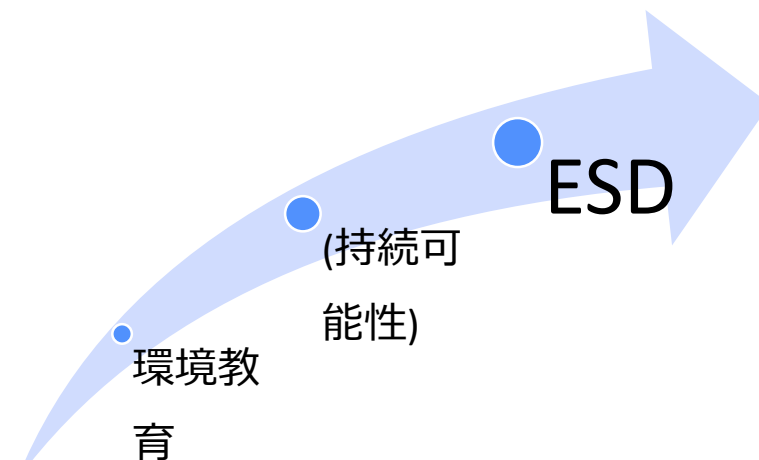
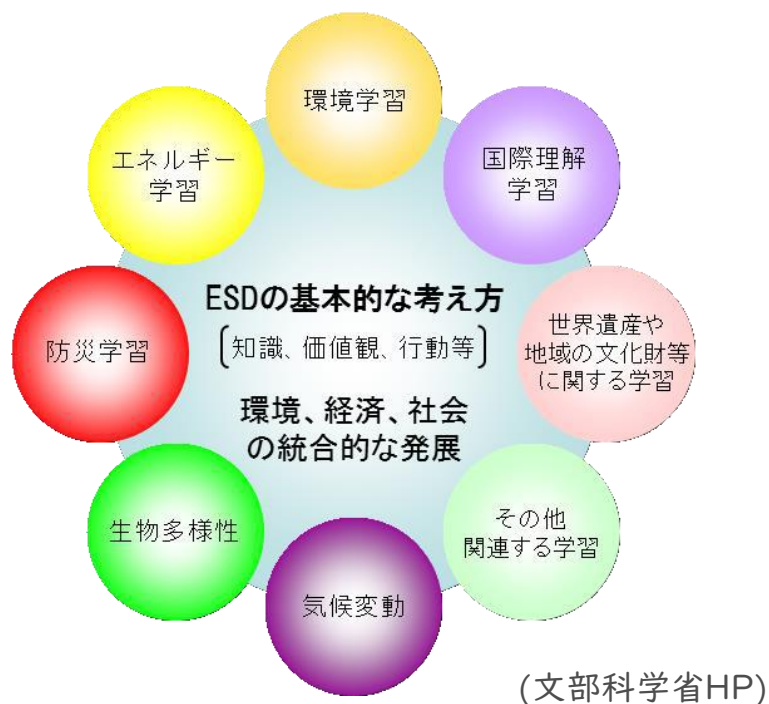
- 社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、一人一人が自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していく※
- 自然や社会とつながり、関わりあいながらその価値や課題を捉え、総合的に理解し、課題解決に向けて行動する

※ 中央教育審議会初等中等教育分科会(教育課程企画特別
部会 論点整理) [https://www.mext.go.jp/b_menu/shing
i/chukyo/chukyo3/siryo/attach/1364306.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryo/attach/1364306.htm)

2.4 環境教育とESD

より幅広いテーマを扱い、また学び方、教え方が類似している
ESDは環境教育が発展したものと捉えることができます

- ・ ESDは環境教育を含む、より幅広いテーマを扱う
- ・ ESDの目標や学び方・教え方は、環境教育の延長線上にある



2.5 SDGs (持続可能な開発目標)

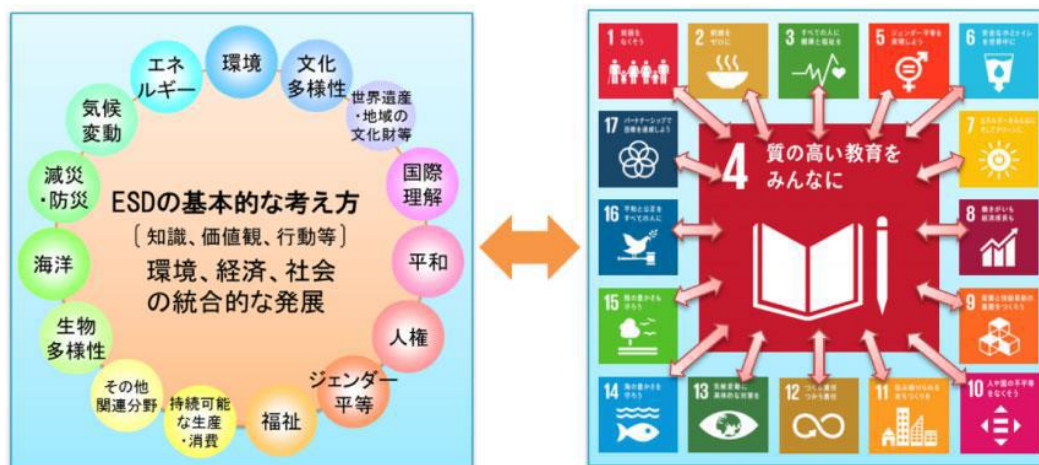
2015年9月国連サミットで採択された2016年～2030年の
15年間で達成を目指す世界共通の目標です



- 17のゴール(目標)と169のターゲット, 232の指標で構成
- 変革: Transforming our world (我々の世界を変革する)
- No One Left Behind (誰ひとり取り残さない)
 - 貧困の根絶(経済・社会開発)と環境保全の両立
 - 不平等(格差)の是正
 - 全ての国が対象

2.6 ESDとSDGs

ESDはSDGsの目標・ターゲットであると同時に,すべてのSDGs達成の鍵でもあります



出典:「ESD推進の手引き」

(2018年日本ユネスコ国内委員会発行)

Education for Sustainable Development (ESD) is “an integral element of the SDG on quality education and a key enabler of all the other SDGs.”

(UNGA resolution 72/222)



3.1 ユネスコエコパークとESD

ユネスコエコパークには、持続可能な社会を実現するための鍵となるESDを促進する役割が期待されています

MAB行動計画(2015-2025)の戦略目標

MAB's Strategic Objectives for 2015-2025 derive directly from the three functions of biosphere reserves identified in the Statutory Framework for the WNBR and the key global challenge of climate change, identified in the Madrid Action Plan for Biosphere Reserves. These Strategic Objectives are to:

1. Conserve biodiversity, restore and enhance ecosystem services, and foster the sustainable use of natural resources
2. Contribute to building sustainable, healthy and equitable societies, economies and thriving human settlements in harmony with the biosphere
3. Facilitate biodiversity and sustainability science, education for sustainable development (ESD) and capacity building
4. Support mitigation and adaptation to climate change and other aspects of global environmental change

3.2 ユネスコエコパークとSDGs

人と自然の共生を目指すユネスコエコパークは、SDGsの達成に貢献するモデル地域と位置づけられています

22.01.2018 - Natural Sciences Sector

Biosphere Reserves, models to contribute to the implementation of Sustainable Development Goals



This year, the Man and the Biosphere (MAB) Programme and its World Network of Biosphere Reserve (WNBR) will be involved in several events that form an important part of the international biodiversity agenda and help implement the Sustainable Development Goals (SDGs).

3.3 ユネスコエコパークの機能とSDGs

その目的に持続可能性を内包するユネスコエコパークの機能は, SDGsとも密接に関わっています

保全機能

conservation

人間の生活とその影響も含めて、
生物多様性保全上、重要な地域

経済と社会の発展

development

自然と調和した持続可能な発展の
モデルとなる取り組み

13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



自然が調和
した持続可能な社会

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



4 質の高い教育を
みんなに



学術的研究支援

logistic support

持続可能な発展のための調査や
研究, 教育・研修

3.4 志賀高原BRのESD①：環境学習プログラム

志賀高原観光協会・ガイド組合は、おもに各種学校を対象とした環境学習プログラムを提供しています



3.5 志賀高原BRのESD②:ユネスコスクール

志賀高原BRのすべての小中学校がユネスコスクールに加盟し、ESDの視点を持った学びに取り組んでいます



特集 自然と共生するまちづくり ユネスコエコパーク

若松伸彦・朱宮丈晴・青木賢人・廣瀬和弘・水谷瑞希・酒井暁子

【新連載】世界遺産・富士山の自然と文化 田畑貞寿

【新連載】魅力あるバングラデシュ 溝口常俊

エチオピア・コンソ民族の人々と社会 生井貞行

3.6 志賀高原BRのESD③：多様な主体との協働

行政や市民団体などが実施する自然環境保全活動に、子どもたちが積極的に参加しています



3.7 志賀高原BRのESD④：ユース・教員養成

信州大学志賀自然教育園では、半世紀にわたって教員を目指す大学生を対象とした自然教育に取り組んできました

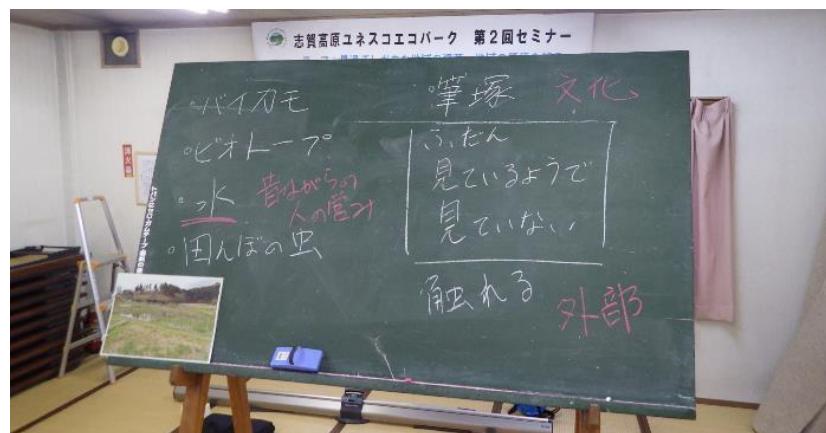


- ・ 信州大学教育学部の学生などを対象とする実習(1963年～)
- ・ “自然豊かな長野県で教員となる者は、自然についてよく知らなければならない”
- ・ 全国の教員養成課程の中でも稀な, 特色ある授業
- ・ 自然環境に関する調査研究

3.8 志賀高原BRのESD⑤：社会教育

地域の方とともに、エコパークを活かした持続可能な地域の発展を考える「ユネスコエコパークセミナー」を開催しています

- ・ BRの制度や自然史, 地域振興についての講演
- ・ 地域資源探索のフィールドワーク, ワークショップ



3.9 志賀高原ユネスコエコパークにとってのESD

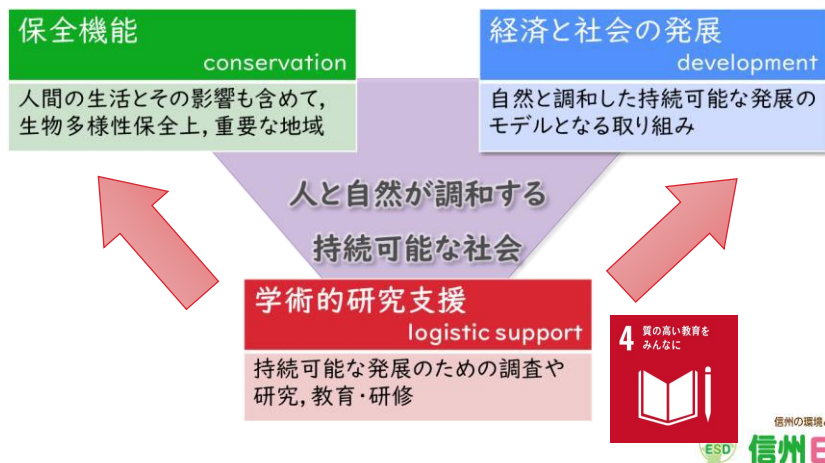
志賀高原BRにとって、ESDはその機能や役割を実現する鍵であると同時に、活動を活性化・推進するエンジンです

地域学習の資源

- 世界級の自然資源
- 地域社会・文化・伝統

多様な人材育成

- 学校教育，次世代育成
- 社会教育・連携と協働



- ESDの学びを経験した世代の存在
 - BRの理念を理解
 - 必要な資質・能力

本日のまとめ

1. ユネスコエコパーク (BR) とは？

- ・ 人と自然の共生を目指す取り組み

2. ESD/SDGsとは？

- ・ ESD: 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育
- ・ SDGs: 2030年達成を目指す世界の「持続可能な開発目標」
- ・ ESDはすべてのSDGs達成の鍵 (ESD for 2030)

3. ユネスコエコパークとESD/SDGsの関係は？

- ・ BRはSDGs達成のモデル地域
- ・ ESDはBRの理念を実現する鍵であり、同時に活動を活性化・推進するエンジン